



第 152 号

2018 年 8 月 6 日発行

TEL 0193 - 42 - 2111

FAX 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

郷土芸能発表会
(吉里吉里学園中学部)



主な内容

- ・審議した議案・・・・・・・・・・・・ 2~3
- ・一般質問の内容・・・・・・・・・・・・ 4~8
- ・特集 復興へのメッセージ・・・ 9

第2回定例会

一般質問に5議員が登壇

平成30年第2回定例会は、6月1日から7日までの7日間（休会日含む）の会期で開催されました。今期定例会には、「大槌町観光ビジョン」の策定に係る報告、大槌町農業委員会委員の任命に關し同意を求めること、大槌町固定資産評価審査委員会の選任に関し同意を求めること、30年度一般会計補正予算など報告8件、議案18件、発議案1件が提案されました。

また、一般質問には5議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

◇議案 — *

《委員の任命》

◎大槌町農業委員会

（全員賛成・原案可決）
めること…小國榮一
氏を選任することに
同意を求めるもので
す。
（全員賛成・原案可決）
たに整備される上町
第2町営住宅を追加
するものです。

《条例の改正》

氏、阿部義正氏、藤原

意を求めるごとに、北田和紀氏、佐々木重吾氏、阿部義正氏、藤原長英氏、阿部成子氏、三浦英俊氏、兼澤修悟氏を任命することに同意を求めるもので

《委員の選任》

◎大槌町固定資産評
価審査委員会委員の
選任に関する同意を求

◎大槌町町営住宅等
条例の一部改正：新
一部改正：地方税法
等の一部改正に伴い、個人住民税、法人住民税、固定資産税、町
たばこ税について、所要の改正を行うもの
です。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町立都市公園 条例の一部改正：釜

◎財産の取得

1

◎町道の路線変更：
道路整備に伴い、終点位置に変更が生じた町道について、路線変更

1

大槌支会定期総会
・大槌町消防演習
・大槌郵便局新築移転業
務開始式典

づく利用者の規定について、所要の改正を行うのです。
（全員）

12万2729円で取
得するものです。

議会の動き

議会の動き	
〈5月〉	10日・大阪府高槻市議会行政視察
14日・自民党及び関係省庁への活動要望(東京都)	14日・自民党及び関係省庁へ
15日・東部議長会定期総会 (普代村)	15日・東部議長会定期総会
16日・三枚堂大ヶ口トンネル貫通式	16日・三枚堂大ヶ口トンネル貫通式
17日・町村議会議員研修会 (盛岡市)	17日・町村議会議員研修会 (盛岡市)
18日・全員協議会	18日・全員協議会
19日・大槌学園体育祭	19日・大槌学園体育祭
・郷土芸能保存団体連合会総会	・郷土芸能保存団体連合会総会
20日・戦没者追悼式	21日・道路関係縦軸合同総会
21日・議会運営委員会	22日・大槌町放課後児童クラブ開所式
・三陸縦貫自動車道整備促進協議会総会	23日・大槌町放課後児童クラブ開所式
30日・大槌町シルバーリ材センター通常総会	24日・大槌町シルバーリ材センター通常総会
〈6月〉	25日・大槌町シルバーリ材センター通常総会
1日・第2回定例会(～7日) ・釜石地区交通安全安全協会	26日・戦没者追悼式
・大槌支会定期総会	27日・議会運営委員会
3日・大槌町消防演習	28日・三陸縦貫自動車道整備促進協議会総会
4日・大槌郵便局新築移転業務開始式典	29日・議会運営委員会



芳賀 潤 議員

消防団員の消防車両運転制限の解消策は

補助制度の創設を検討する

高齢者対策について

【問】復興事業メニューのサポート拠点事業が本年度で終了予定であるが、それに代わるような政策について町としての考え方を伺う。

【答】(平野町長)
自宅再建等により、新たな生活を始めた高齢者に対しては、「介護予防・日常生活支援総合事業」や「お元気教室」、「認知症力フェ」などの「地域支援事業」を活用し、高齢者の日常生活の状態を提供していくこととしており、必要な事業量の増を第7期老人福祉計

画・介護保険事業計画で見込んでいる。

また、当該計画では、介護サービス整備状況調査を町内の居宅支援事業所を対象に実施し、その結果、町民のニーズに対応する新たな取り組みと

事業及び日常生活支援総合事業の充実を図ることにより、町民のニーズに対応していく。

【問】現在の消防団の団員数(充足率)と団員の確保策は。

【答】現在の消防団の団員数(充足率)と団員の確保策は。

消防団員確保対策と消防車両運転制限解消策について

宅介護サービス、認知症対応型共同介護サービス及び機能訓練型通所介護サービス事業所について、それぞれ1力所ずつ新規開設を見込んでいる。



6月3日の消防演習の様子

る消防力の低下は全国的であり、本町においても

喫緊の課題と認識している。確保対策については、広報おおつちの紙面を活用したPR、町内事業所等と連携した団員募集のポスターの掲示、消防団員による新人団員の勧誘、女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少



6月3日の消防演習の様子

から消防演習等のイベン

トに参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

子さんに参加していただ

き、盛大に開催された。

このように、早いうち

に参加いただき、子ども

も達に消防団への憧れ意

識を持っていただくよう

な環境を整えていくとと

もに、これまでの取り組

みについても、根気強く

継続し、団員の確保に繋

げて行きたいと考えてい

る消防力の低下は全国的

であり、本町においても

喫緊の課題と認識してい

る。確保対策については、

広報おおつちの紙面を活

用したPR、町内事業所等と連携した団員募集の

ポスターの掲示、消防団

員による新人団員の勧誘、

女性消防団員の入団促進等、消防職員、消防団OBの機能別消防団への入団促進による消防力の維持対策に取り組んできた。

また、本年度初めて少

年消防クラブ員が消防演習の分列行進に参加し、幼年消防クラブにおいても、昨年度より多くのお

新産業創出の課題は

人手や技術 費用が不足



澤山 美恵子 議員

6次産業について

【問】施設整備は「民」の要望に「官」が応えるのではなく、「官」が「民」の声を聞かず、税金を投入するトすれば、なかなかうまくいくとは思えないが、当局の見解は。

【答】(平野町長)
これまで、震災前事業の復旧・復興が前提であり、新分野進出や産業の6次化といった取り組みは十分できなかつたが、漁協や水産加工業者からは、地場産業商品に附加值をつけるための商品開発や消費者ニーズに即した加工品製造場所の要望があつた。水産業者・建設業者等からは「事業

観光ビジョンについて

【問】伝統文化の「多く

く。

【答】(平野町長)
貴重な町の歴史的文化的な財産である、郷土芸能の円滑な活動・情報等を発信できる施設に関して、既存の施設の利用を含めて、引き続き検討していく。

【問】町郷土芸能保存団体連合会は施設整備を要望しているが検討状況は。

【答】(平野町長)
大槌まつりや郷土芸能などで披露される伝統芸能は、観光客から高い評価をいただいており、観光客の誘客拡大を図るうえで重要な観光資源である。

【答】(平野町長)
あるが具体的な内容は、

の方が気軽に伝統芸能に触れ楽しめる環境を構築「伝統芸能団体の活性化・やりがいの創出」と

安全と防災について

【問】沢山地区的農協や植学園に上がる道路、吉

安全と防災について

里吉里釜石線、安渡ランプから赤浜方面の道路の雨水対策は。

識・道路標示・交差点についても警察協議を開始する。

【答】(仮称)三枚堂大ケロトンネル大ヶ口側付近に避難施設の検討状況は。

【答】(仮称)三枚堂大ケロトンネル大ヶ口側付近に避難施設の検討状況は。

【答】(仮称)三枚堂大ケロトンネルの大ヶ口側出口付

【答】(平野町長)
28年度に県管理河川の改修工事について、優先順位を示して要望してお

【答】(平野町長)
メートル、路側帯の力

ラ一舗装・路面の凸凹舗装の実施・通学路の変更も視野に入れながら、住宅の安全対策についても防護柵・防音壁等の設置を予定している。道路標

【答】(平野町長)
計画が見直され、優先度の高い大槌川4カ所、小鎌川3カ所を32年度までに、県が施工する予定で



東梅康悦議員

グループホーム・サポートセンターの今後は

第7期の老人福祉計画・介護保険事業計画で対応

福祉施策について

【問】震災後に町の福祉施策として応急的にグループホーム・サポートセンターが運営された。

今後も同様の施策が必要と考える。現在の利用、運営状況は。

【答】(平野町長)

高齢者等共同仮設住宅運営事業は当初町内4カ所で運営されてきたが、1カ所に集約し、4月末現在3名が入居している。また高齢者等サポート拠点事業は3カ所で運営され昨年度実績で1カ所あたり1日平均25名の利用がある。



三枚堂地区高齢者等サポート拠点エールサポートセンター

ポート拠点事業も集約していく。

今後は地域支援事業を活用し高齢者の日常生活の状態に応じた適切なサービスの提供を第7期老人福祉計画、介護保険事業計画に見込んでいる。

林業施策について

【問】国は手入れの行き届かない山林への対応策として、意欲のある担い手に集約する制度を考えおり、併せて森林環境税も導入される。

林業行政の今後は町の関与が大きくなる。町が取り組むうえでの課題は何か。

【答】(平野町長)
計画的かつ持続的な森林整備を促進することで

【答】(平野町長)
森林所有者が管理できない場合、町に管理を委ね、経済ベースによる森林は意欲と能力のある林業経営体に再委託し、困難な森林は町が公的に管理を行うこととなる。課題として森林所有者の意向調査や経済ベースにのらない山林の管理方法、木材資源の活用、再造林、保育の促進、担い手の育成産業化の推進があげられる。

林業の成長産業化が促され公益的機能の発揮にもつながる。施工性及び経済性を加味した森林整備計画の作成、木材資源利用の増進、意欲と能力のある林業経営体の育成支援、新たな施業手法の導入支援を検討したい。



6月17日の新山の清掃活動の様子

高校まで医療費助成を

前向きに検討する



阿部俊作議員

大槌町文化交流センターについて

【問】三陸沿岸の津波は、これまで災害の大きさに主眼が置かれて来たが、

地震の活動に目を向け地

震のサイクルなど最新の科学情報も知らせて、地球自然と向き合う学習の場としては。

【答】(平野町長)

震災伝承について、震災の記憶を留め、伝えていくことがセンターの一つの目的。科学的見地から地球自然と向き合う学習の場を提供することは、

津波は単に恐ろしいと伝えるだけでなく、防災教育の面で非常に意味がある。

今後、地震のマグニチュード・震度・地震のサイクルなど最新の科学情報の企画を検討する。

子ども子育て支援につ

いて

【問】子ども子育て支援は、町の未来に直結している。

子育て環境を整える施策

は、住宅支援・医療費助成・就学援助などいろいろある。

他市町村では、医療費助成を高校まで拡大しているところが多くなってきたが、当町の考えは。

【答】(平野町長)

県の補助制度などの全体の流れを見ながら、前向きに検討する。

岩手県立大槌病院



岩手県立大槌病院

討する。

【答】(小笠原農林水産課長)

新たな養殖の品目の選定や研究を行う施設である。

技術検討委員には東京・岩手・北里各大学の研究者を構成員として、専門分野については連携する。

【答】(平野町長)

畜産業・水産業者を対象に意向調査を行っており、その結果を施設整備に反映させる予定である。

また、施設を有効活用するために、新分野に熱意を持ったプレーヤーと

技術支援のサポートを広く募集する。

【問】安渡地区に産業研究センターの構想があるが、今後の見通しと運営・人

施設運営は「技術運営検討会」で制度設計を検

討する。

【答】(小笠原農林水産課長)

新たな養殖の品目の選定や研究を行う施設である。

技術検討委員には東京・岩手・北里各大学の研究者を構成員として、専門分野については連携する。

【答】(平野町長)

畜産業の整備と活用について

【問】交通網についてシミュレーションし、早くから交通弱者対策を考えています。

【答】(平野町長)

復興後のまちづくりを見据えて昨年度大槌町地域公共交通網形成計画を策定した。

①持続可能で利便性の高い町民バスを再構築。

②大槌駅の再生。

③高齢者・障がい者施策の充実。

④利用促進の充実。

実現のため13のプロジェクトを計画している。



佐々木 慶一 議員

土砂災害警戒区域の避難所の扱いは

県の再調査結果により避難所の扱いは

築等に意を配している。

避難施設の整備について

【問】現在の復興状況を鑑みた時の現状の職員数の充足状況と、復興事業の終盤を迎えるに当たつての人数規模的に見たソフトアレンディング計画は。

【答】(平野町長)
昨年10月1日時点での要請117名に対し105名の職員を確保、不足数は12名であり、充足率は89.7%だが、内部組織調整やプロパー職員の配置等の対応調整により、本年2月策定の大槌町組織・定数計画における年度定数との比較においては、2名の実不足数。充足率は98.1%。来年

度はプロパー職員及び派遣職員を合わせて190名、32年度は175名、33年度には、震災前と同様のプロパー職員による130名規模の体制を考えている。

【問】仮設住宅に残される住民へのケア等の視点で、30年度の各部局毎の職員配置数にはどのような配置がされたか。

【答】(平野町長)

昨年の8月22日から29日の間に実施した、人事・組織ヒアリングの内容に基づき、各課室における業務の進捗状況や問題点等を踏まえ、職員配置はもとより、組織の構



500世帯余りが入居する応急仮設住宅

またその業務内容は。

【答】(平野町長)

震災以前においては、防災関連業務は総務課職員が他業務との兼務により対応していたが、防災に係わる業務を専属で

行なう「危機管理室」を平成25年4月より設置した。

危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。

また、危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。

行なう「危機管理室」を平成25年4月より設置した。危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。

行なう「危機管理室」を平成25年4月より設置した。危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。

行なう「危機管理室」を平成25年4月より設置した。危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。

行なう「危機管理室」を平成25年4月より設置した。危機管理室の職員を、いわゆる防災専門職員の位置付けとして取り組んでおり、現在、期限付臨時職員を含め5名体制を取っている。



台風被害の爪痕が残る安渡公民館



桜木町自治会 会長

横山 秀雄さん



赤浜自治会 会長

天満 昭広さん

諸先輩が設立し絶えることなくつないできた桜木町自治会は間もなく結成50周年になります。高齢者が多くなってきました桜木町自治会は今年48回定例総会が開催され、その席で震災で中断している「大槌まつり」への手踊りを復活してほしいとの声が多くあり、以前と同じ規模にはなりませんが現在参加する方向で

取り組んでいます。当自治会は「融和と睦」を目的に行事を組んでいます。子供から高齢者まで誰でも参加できる行事です。家に籠らずに行事に参加し、おしゃべりし、友達を作つてみてはどうでしょうか。過去の教訓を活かしつつ「安全・安心」な町づくりが目標です。

桜木町自治会結成50周年に向け



自治会活動「チャレンジデー」へ参加

私達の住む赤浜は、町のシンボルと言われるひよっこりひょうたん島がある地域という意識を持つており、復興街づくりにおいても住民の話し合いでひょうたん島のある海を見て暮らしたいと高台移転を選択しました。それにより住宅の再建が他の地域に比べ遅れることとなりましたが、現在急ピッチで進んでおりました。

街づくりと共に立ち上げた自治会組織の活動では、今だ復興も心のケアも済んでいない中、若い方達の地域のために活動を計画し実行する姿はとても頼もしく、心強く感じております。決して大きくない地域ではあります、ですが、キラリとヒカル街となるようサポートしていきたいと思います。

明日の時代への継承



自治会活動「ひょうたん島まつり」

表紙写真

表紙タイトル



「おおつち」は、吉里吉里学園小学部3年生（29年度12月時）の関谷省吾さんにお書いていただきました。デザインに込めた思いなどを伺いました。

◆表紙の写真は、平成30年7月4日に吉里吉里学園中学部で行われた「笛」「太鼓」を、学園生徒です。

◆「鹿子踊り」「大神樂」「甚句」「虎舞」そして、「笛」「太鼓」を、吉里吉里学園中学校部で行われた「郷土芸能発表会」の様子です。

◆それぞれが郷土芸能伝承活動の成果を元気に披露しました。発表後には、温かい大きな拍手をもらい、爽やかな笑顔を見せていました。



◆どんなテーマで描いたのですか。

◆魚をテーマにして描きました。吉里吉里に魚が増えればいいと思

◆「おおつち」は、吉里吉里学園小学部3年生（29年度12月時）の関谷省吾さんに書いていただきました。デザインに込めた思いなどを伺いました。



◆大槌町のどんなところが好きですか。

◆魚がいっぱいいるところです。

◆大槌町がどんな町になつたらいいと思います。

◆全員が仲良くなつたらいいと思うし、長生きしてほしいと思います。

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていたら機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。



●9月定例会は8月31日(金)開会予定です

(予定は変更される場合があります)

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	定例会・臨時会	
		6/1～6/7・7/9	
		出席	欠席
1	佐々木慶一	5	0
2	下村 義則	5	0
3	澤山美恵子	5	0
5	阿部 三平	5	0
6	小笠原正年	5	0
7	東梅 守	5	0
8	阿部 傑作	5	0
9	東梅 康悦	5	0
10	及川 伸	5	0
11	金崎 悟朗	5	0
12	阿部 義正	5	0
13	芳賀 潤	5	0
14	小松 則明	5	0

委員会報編集特別委員会
委員長 副委員長
下村 阿部 東梅 阿部 佐々木慶一
義則 三平 守 俊作

(議会事務局木村 真知子)

議会報は、町民の皆様に議会のことをお知らせするため作っています。

皆様が選んだ議員がどのように町政へ意見や質問をしているのか、自分たちの声がどれだけ反映されているのか、興味を持つて読んでいただけたらと思います。

編集後記

▼今年度、議会事務局に異動し、議会報の編集に携わることになり4ヶ月が過ぎました。

前回号の表紙撮影で吉里吉里学園小学部に、今回吉里吉里学園中学部に伺いましたが、私と娘2人が卒業した学校なので当時のこと思い出しながら楽しく撮影させていただきました。